



新入生教務ガイダンス

商学部 経営・流通学科
流通マーケティング学系
1年次

大学入学後は、分からないことが多いが、『何が分からないのかを知ること』 そして、分からないことは必ず聞くこと。

配付物の確認

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド(各学部別)
5. 履修ガイド(K'sLife利用ガイド)
6. 授業時間割表
7. 教職課程について
8. 創立60周年記念オリジナルEdyカード及びチラシ
9. 教科書購入一覧表
10. 教科書購入申込書(OCR)
11. 外国語学習の手引き2020
12. Campus
13. 学友会ハンドブック
14. 若いときから知っておくべきお酒のこと
15. 基礎から学べる金融ガイド
16. 薬物乱用防止リーフレット
17. ごみルールブック
18. 大切なあなたを守るために・・・福岡県警察
19. 定期健康診断日程表
20. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
21. お金の心配なく学びつづけたい学生のみなさんへ
22. 国際交流センター報(JUNCTION)
23. キャンパスハラスメント冊子
24. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2020-2021
25. 九州産業大学美術館展覧会「家具をつくる一暮らしを語るデザイン」チラシ
26. 九州産業大学資格取得講座等総合案内
27. 大楠アリーナ2020パンフレット
28. 入学直後アンケート

封筒の中に、
「配付書類及び解説」(A4縦1枚)
に記載されているものが、すべて
入っているか確認してください。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
クラス制及びクラス担任	あり（1クラス20人～40人程度）	あり（クラス担任は、1年次のゼミナールの担当教員）
HR/朝礼	あり	なし（大学からの連絡や情報は、掲示板、K's L i f e、インフォメーションディスプレイ及び教務部HPに掲載します。）
学期制	基本的に3学期制	2学期制（前期・後期）
休み期間	8月、12月下旬～1月上旬、3月末	8月上旬～9月上旬、12月下旬～1月上旬、2月～3月
授業時間	50分	100分
1科目の授業回数	週数回	基本的に週1回
授業形態	「クラス」単位で着席位置を決められていることが多い。クラスごとの時間割に合わせ、各教科の先生が授業を行う。	基本的に着席は自由です。（中には着席位置が決められている授業もあります。） ①講義：先生が学生の前で授業する。 ②実習・実験：先生からの課題などについて実習・実験する。 ③ゼミナール：少人数制で、課題から自分で発表するテーマを決め、各自で調査し、みんなの前でプレゼンテーション（発表）などを行う学生中心の授業。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
履修(時間割)	決まっている (クラスで共通)	決まっていない(自分で登録する) 自分の興味や、取得したい資格及び将来設計に合わせ、時間割を作成する。卒業要件を確認した後、年次別授業科目配当表及び授業時間割表の中から、自分の学修したい科目を選択する。
教室	クラスで決まっている	授業科目毎に決まっている。 選択した授業の教室に自分が行きます。科目によって、教室の規模が異なります。(30名~多い教室では500名超座席があります)
出欠	取る	取る場合がほとんどだが、取らない場合がある
欠席の連絡	必要	不要(1ヶ月以上の場合には必要)
卒業要件	基本的に学年制	単位制(124単位以上)(卒業要件を確認すること) 基本的には1年間の成績で「留年」と判断されることはありません。 大学では、学修の量を「単位」として計算し、授業科目を履修して、試験に合格すると、定められた単位数を修得することができます。単位数は授業の種類によって定められているので、自分が在籍する学部の卒業に必要な単位数をしっかりと確認しながら、授業を履修することが必要です。
アルバイト	原則禁止	自由

用語説明

履修登録とは？

→自分で時間割を作成し、Web登録すること。

K's Life（ケース ライフ）とは？

→学生教育支援・事務情報システム

個人の履修登録、成績、連絡通知を閲覧できるWebサイトのこと。

（本学のホームページより閲覧）

シラバスとは？

→授業科目の講義内容や学修計画のこと

K's Life（ケースライフ）で閲覧可能。

※学生証

*本人確認できる身分証明書。常に携帯すること

*内蔵のICチップを破損しないよう大切に扱うこと

学生便覧とは

『学生便覧』とは？

⇒ 大学のルール（**学則**）や卒業するためのルール（**履修規程**）などが書かれたもの

* 商学部授業科目履修規程

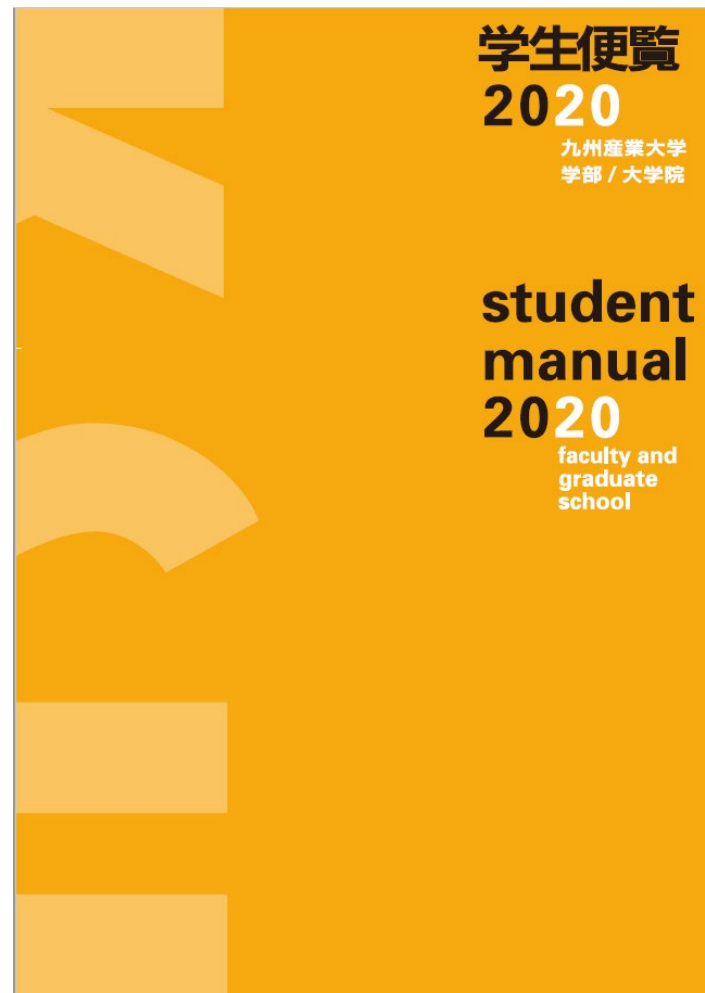
⇒ **92～106ページ**

* 重要なことが書かれている

⇒ 『学生便覧』をよく読もう!!

* 卒業するまで必要なもの

⇒ 大切に保管してください



コロナウイルス感染症拡大に伴う 学年暦の変更について

コロナウイルス感染症拡大に伴い、本学での安全・安心な授業体制を整えるため、授業開始を**延期**します。

配布している学生便覧・履修ガイド(K'sLife利用ガイド)等に記載の学年暦(1年間のスケジュール)は**変更前**のものです。

今から説明するスライド内容については、**変更後**の学年暦をお伝えするため、本日の内容を必ず参考にしてください。

学年暦

授業は、**前学期13回**、**後学期14回**

4月

9月

3月

前学期

夏季休業

後学期

冬季休業

・ 前学期授業開始 4/22 (水) 全13回

・ 祝日授業実施日 4/29 (水) 等

・ 7/4 (土) →火曜授業

・ 補講日 (土曜日)

4/25、5/16、5/30、6/13、

6/27、7/11、7/24

・ 前学期定期試験 7/25 (土) ~7/31
(金)

・ 後学期授業開始 9/14 (月) 全14回

・ 祝日授業実施日 9/21 (月) 等

・ 12/23 (水) →月曜授業

・ 補講日 (土曜日)

9/26、10/10、10/24、11/7、11/21、

12/5、12/19、1/7

・ 後学期定期試験 1/8 (金) ~1/18 (月)

・ 夏季休業 8/4 (火) ~

・ 冬季休業
12/24 (木) ~

前学期の成績公開日は、8月31日 (月)

後学期の成績公開日は、3月10日 (水)

卒業要件と単位認定方法

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件（P.8）

別表第10は、P.61に記載。

卒業までに **124単位以上**必要！

- ・ 第18条：単位の認定（P.8）

授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われます。

成績表示は

秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D/E)

単位修得

受験心得・学生証・教員組織

- 受験心得 (P.415)
定期試験の受験心得。一度は読んでおくこと。
- 学生証の取扱
本人確認できる大切なもの。常に携帯すること!!
内蔵の I C チップを破損しないよう大切に扱うこと。
- 教員組織 (P.420)
商学部経営・流通学科の専任教員は 1 号館10階に
研究室がある。
非常勤講師控室は1号館2階。

履修ガイドについて

履修とは



履修とは：卒業要件を確認した上で、当該学部・学科の授業科目を学修し、単位修得するために授業の受講登録をすること。

履修ガイド：本年度の履修に関する手引書
講義を受ける上での注意事項が
記載している。
必ず一読し、履修登録すること。

履修登録：自分の時間割を作成した上で、WEBで授業科目の履修を登録することです。
学生便覧の授業科目履修規程、年次別
授業科目配当表及び授業時間割表を
確認すること。

履修ガイドについて

シラバス

授業科目名、授業担当教員、授業概要、授業計画、成績評価基準などを記載している。
必ず、シラバスを確認した上で、履修登録すること。

K's LifeによるWeb履修登録の際にも、シラバスを確認することができます。

科目コード	0FG2001																																
科目名	地域共創学概論																																
担当教員	真木 圭亮 福道 裕俊 佐藤 忠文 緒方 泉 木村 俊夫 古賀 弥生 宗像 達 末松 龍山下 永子 横井 克典 行平 真也 瑞慶山 広大 高山 和幸																																
対象学年	1年																																
クラス	[001]																																
講義室	N303教室																																
履修学期	前期																																
曜日・時間	火4																																
単位区分																																	
授業形態																																	
単位数																																	
履修事項																																	
備考																																	
実務教員	○																																
A 授業概要/Class Outline	<p><IPおよびGPとの関連性> 本講義は、地域づくり学科のDP1およびDP1に基づいて、様々な角度からの地域共創を学ぶことを目的として設置している。</p> <p><カリキュラム上の位置付けや水準> 本講義は、地域づくり学科における最も基礎的な科目として、1年次に配当されている。</p> <p><内容> 「地域のづくり方」が大きく変化しつつある。かつて地域づくりは自治体为主体となり行うものであった。近年では自治体だけでなく、企業やNPOの法人、さらにはその地域に暮らしを営む住民が共に手を取り合って地域づくりを行うようになっている。すなわち、地域が「共創」されるようになっている。本講義では、地域の共創の近年の動向やその特色、そして将来的な展望について、専門領域の異なる教員が自身の専門領域の視点から解説していく。本講義を通じて、時代のまちづくりの意義、そして共創の重要性と臨機応変について学んでいく。</p> <p>基本的には以下のスケジュールで進行していくが、状況に応じて多少の変更が生じる場合がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「地域を共創する」という考え方について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまでを題材に、地域共創の実践例を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>不登届とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>環境問題の解決に向けた取組事例を通じて、地域共創のあり方を探る</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>災害と關する自治体の役割を考える</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>これからの地域の共創のあり方について考える</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ	2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ	3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える	4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまでを題材に、地域共創の実践例を学ぶ	5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える	6	農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ	7	不登届とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える	8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える	9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ	10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える	11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える	12	環境問題の解決に向けた取組事例を通じて、地域共創のあり方を探る	13	災害と關する自治体の役割を考える	14	これからの地域の共創のあり方について考える	15	
回	内容																																
1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ																																
2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ																																
3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える																																
4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまでを題材に、地域共創の実践例を学ぶ																																
5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える																																
6	農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ																																
7	不登届とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える																																
8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える																																
9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ																																
10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える																																
11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える																																
12	環境問題の解決に向けた取組事例を通じて、地域共創のあり方を探る																																
13	災害と關する自治体の役割を考える																																
14	これからの地域の共創のあり方について考える																																
15																																	
C 到達目標/Class Goal	<p>・地域づくりへの多様なアプローチについて理解できる</p> <p>・「地域共創」という考え方を理解できる</p> <p><事前・事後学習について> 大学設置基準第21条第2項に「一 単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを得準」と規定されている。本科目は1単位数であるため、受講時には90時間の学修が求められる。授業時間は100分×14回＝210時間であるため、90時間から210時間を引いた120時間が、事前・事後の総学習時間となる。授業1回あたりでは、6.5時間×14回＝91時間の事前・事後学習が受講生には求められる。</p> <p><事前・事後学習の内容> 事前学習: 地域共創の事例について、自分なりに調べ整理しておく(2.25時間) 事後学習: 講義内容の復習(2.5時間)</p>																																
E 評価基準/Grading Criteria	地域共創学専攻授業科目履修規定第43条(成績評価基準)に基づき評価する。																																
F 評価方法/Grading Method	毎回の講義でのミニレポート(100%)																																
G 受講上の注意/Class Rules	<p>・出席については受講生自身が責任を持って管理すること</p> <p>・講義中は質問や意見を求めることがあるため、その機会を逃さないように集中して講義に臨むこと特に厳しくない。</p>																																
H 受講制限/Prerequisite																																	
I 関連する科目/Related Class	地域共創学部のすべての科目の基礎となる重要な科目の1つであることを強く意識して講義に臨むことが望ましい。																																
J 教科書/Text	必要に応じて適宜指示をする。																																
K 指定図書/Assigned Books	必要に応じて適宜指示をする。																																
L 参考文献/Bibliography	必要に応じて適宜指示をする。																																

大学の学修（学修と学習のちがい）

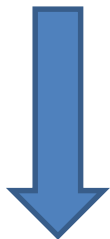
①自分で学修計画（時間割）を作成する。



②自分で履修登録を行う。



③授業を受ける。



レポート
提出



定期
試験



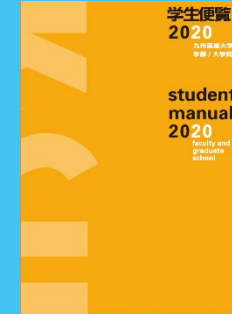
④単位を修得する。



⑤卒業に必要な単位を修得する。



⑥卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照
すること。

科目について

九州産業大学の教育課程

基礎教育科目

- 広く様々な学問を学び人間力を養う

外国語科目

- 英語・英語会話及びその他の外国語科目を学ぶ

専門科目

- 特定の分野について専門的に学ぶ（学部によって異なる）

卒業（124単位以上）

学則

卒業要件

卒業するまでに必要な単位は、124単位！！
但し、卒業要件を満たしていないといけません。

授業科目区分	授業科目及び単位数					
専門科目	コース科目	選択必修科目	26単位以上	さらに 専門科目から 24単位以上	さらに 専門科目、 基礎教育科目 及び外国語科目 から20単位以上	
		選択科目	8単位以上			
	学系科目	6単位以上				
	実践力育成科目	12単位以上				
	資格関連科目	4単位以上				
基礎教育科目	導入科目	14単位以上				
	実践科目					4単位以上
	教養科目					4単位以上
	心と身体健康科目					
外国語科目	10単位以上（英語8単位以上）					
合計				124単位以上		

単位について

区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		卒業要件
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	卒業要件 1. 124単位以上 2. 必修科目をすべて履修 3. 必修科目の単位数をすべて満たす
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	
基礎科目	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	○総合学入門 2	2	

区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目 (単位)	単位数	授業科目 (単位)	単位数	授業科目 (単位)	単位数	授業科目 (単位)	単位数
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2
基礎科目	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2	総合学入門 (2)	2

2	4	2	2	2	1
2	2	2	2	2	1
2	2	2	2	2	1

= 124単位

専門科目について

区分	○は全員履修科目かつ選択必修科目、□は学系内全員履修科目かつ選択必修科目、●は全員履修科目かつ選択科目、△はコース選択必修科目												卒業要件						
	第1年次			第2年次			第3年次			第4年次									
	入門科目		基礎科目		履修科目		履修科目		履修科目		履修科目								
必修科目	●コース入門ゼミナール	2	●ゼミナールⅠ	2	●ゼミナールⅡ	4	●卒業論文ゼミナール	8											
共通科目	○経営学入門	2																	
	○経済学入門	2																	
	○簿記論	2																	
	○マーケティング入門	2																	
	○企業論入門	2																	
	○情報リテラシー入門	2																	
	経営実務コース	△経営学入門 (2020年度以降)	2	△経営実務入門	4	△経営史	2	△生産システム論 (2)		△ビジネスケース分析 (2)									
						△人的資源管理論	2	△ビジネスコミュニケーション (2)		△人的資源管理演習 (2)									
						△経営戦略論	2	△人的資源管理演習	2	△日本経済史 (2)									
						△ベンチャービジネス論	2	△現代経営史 (2)		△技術経営論 (2)									
					△経営管理論	2	△労務関係論 (2)		△経営組織論 (2)										
					△生産管理論	2	△経営組織論	2	△ソーシャルビジネス演習 (2)										
					△事業開発論	2	△中小企業論	2											
					△ビジネス法	2	△経営実践基礎論	4											
					△中小企業論	2													
					△経営実践基礎論	4													
ファイナンスコース	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△金融政策論 (2)		△ベンチャーファイナンス論 (2)												
					△保険論	2	△資金調達論 (2)		△国際金融論 (2)										
					△金融機関論	2	△証券市場論	2											
					△金融論	2	△中小企業金融論 (2)												
					△地域金融論	2	△リスクマネジメント論 (2)												
					△ファイナンス・グローバル化論	4	△コーポレートファイナンス論 (2)												
					△国内金融研究	2	△バーチャルファイナンス論 (2)												
会計コース	△会計学入門	2	△財務会計の基礎	2	△原簿記算論 (2)		△管理会計論 (2)		△管理会計論 (2)										
					△管理会計の基礎	2	△簿理別会計実務A (2)		△税務会計論 (2)										
					△財務報告分析	2	△簿理別会計実務B (2)		△会計情報システム (2)										
							△財務会計論 (2)												
マーケティングコース	△流通入門	2	△流通入門	2	△流通政策論 (2)														
					△交通論	2	△小売マーケティング論 (2)												
					△マーケティング論	2	△消費行動論 (2)												
					△人材マネジメント論	2	△広告論 (2)												
					△流通システム論	2	△流通史 (2)												
					△流通ビジネス論	2	△ロジスティクス論 (2)												
					△マーケティングリサーチ論	2	△CSR論 (2)												
					△マーケティングリサーチ演習	2	△マーケティング戦略論 (2)												
国際ビジネスコース	△国際ビジネス入門	2	△シニア論	2	△異文化マネジメント	2	△ビジネスインテグレーション (2)												
					△経営管理論	2	△ビジネスインテグレーション (2)												
					△国際ビジネス事情	2	△国際経営戦略論 (2)												
					△企業倫理学	2	△比較経営論 (2)												
					△組織論	2	△九州企業国際化事情 (2)												
					△国際経営論	2	△欧米ビジネス特殊講義 (2)												
					△国際マーケティング	2													
					△国際金融論	2													
社会情報コース	△社会情報入門	2	△データ分析の基礎	2	△データ分析 (2)														
					△メディア心理学	2	△データ分析の応用 (2)												
					△コンピュータ概論	2	△マルチメディア論 (2)												
					△資料管理論	2	△マルチメディア演習 (2)												
					△情報ネットワーク論	2	△シミュレーション論 (2)												
					△ソフトウェア論	2	△データベース論 (2)												
					△情報セキュリティ論	2													
九州ビジネス	●インターンシップ入門	2	●ビジネスインターンシップ	6	九州とインターネットビジネスⅠ (2)		経営実践演習 (4)												
					九州企業事情	2	九州とインターネットビジネスⅡ (2)		経営実践発展演習 (4)										
					九州企業研究A	2	九州と企業 (2)		九州企業経営分析演習 (2)										
					九州企業研究B	2	九州と起業 (2)		国際ビジネス比較演習Ⅰ (2)										
							九州と起業制作 (2)		国際ビジネス比較演習Ⅱ (2)										
							九州企業と経営戦略 (2)		国際ビジネス比較演習Ⅲ (2)										
							九州企業ビジネス (2)												
							九州とマーケティング (4)												
資格関連	在外研修	4																	
	アジアビジネス研修A	(2)	アジアビジネス研修B	(2)	アジアビジネス研修C	(2)													
	マーケティング実践演習A (教員主2科)	(4)																	
	ビジネス演習A (ビジネス実務発展2科)	(2)	ビジネス演習B (ビジネス実務2科)	(2)	中小企業診断士入門 (4)														
	ファイナンス演習A (証券外務員二種)	(4)	ファイナンス演習C (FP3級)	(4)	ファイナンス演習D (FP2級)	(4)													
	ファイナンス演習B (証券外務員一級)	(4)																	
	情報処理演習A (MOS Word)	(4)	情報処理演習C (MOS Access)	(4)	情報処理演習B (MOS Excel)	(4)													
	情報処理演習B (MOS Excel)	(4)																	

専門科目

○、□及び△

選択必修科目26単位

専門科目

コース選択科目 8 単位

学系選択科目 6 単位

専門科目

実践力育成科目 1 2 単位

資格関連科目 4 単位以上

○全員履修科目かつ選択必修科目

経営学入門、経済学入門、簿記論、マーケティング入門、企業論入門、情報リテラシー入門

□学系内全員履修科目かつ選択必修科目
流通入門、国際ビジネス入門、社会情報入門

●全員履修科目かつ選択科目
インターンシップ入門、ビジネスインターンシップ、基礎ゼミナール、コース入門ゼミナール、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、卒業論文ゼミナール

専門科目について

商学部の特徴

4年間全員ゼミナールに所属

2年次から各コースに所属（マーケティングコース・国際ビジネスコース・社会情報コース）

【実践力育成科目】 1人1プロジェクト

九州ビジ初科目と研修科目で構成されており、商学部の学生全員が、実践的な学びを学修できるように設計しています。卒業までに12単位以上修得しなければいけません。（インターンシップ入門、ビジネスインターンシップは全員履修です。）

【資格関連科目】 1人1資格

1人1資格取得してもらうために設計している科目です。卒業までに4単位以上修得し、是非資格を取得して下さい。（別途資格の単位認定制度あり）

実践力育成科目	九州ビジネス科目	●インターンシップ入門	2	●ビジネスインターンシップ	6	九州とインターネットビジネス I	(2)	経営実践演習	(4)	12単位以上
	研修科目			九州企業事情	2	九州とインターネットビジネス II	(2)	経営実践発展演習	(4)	
				九州企業研究A	2	九州と商業	(2)	九州企業経営分析演習	(4)	
				九州企業研究B	2	九州とコンテンツ制作	(2)	国際ビジネス比較演習 I	(2)	
				在在外研修	4	九州企業と経営戦略	(2)	国際ビジネス比較演習 II	(2)	
				アジアビジネス研修A	(2)	九州金融ビジネス	(2)	国際ビジネス比較演習 III	(2)	
				アジアビジネス研修B	(2)	九州とマーケティング	(4)			
				アジアビジネス研修C	(2)					
資格関連科目		マーケティング実践演習A(販売士3級)	2	マーケティング実践演習B(販売士2級)	(4)					4単位以上
				ビジネス演習A(ビジネス能力検定2級)	(2)	ビジネス演習B(ビジネスコーチング)	(4)	中小企業診断士入門	(4)	
				ファイナンス演習A(証券外務員二種)	(4)	ファイナンス演習C(FP3級)	(4)	ファイナンス演習D(FP2級)	(4)	
				ファイナンス演習B(証券外務員一種)	(4)					
				情報処理演習A(MOS Word)	(4)	情報処理演習C(MOS Access)	(4)	情報技術基礎演習A(ITパスポート試験)	(4)	
				情報処理演習B(MOS Excel)	(4)	eコマース演習(ネットショップ実務士検定)	(4)	情報技術基礎演習B(マルチメディア検定)	(4)	
				職業指導	(4)					

これらの科目をきちんと修得するためには、1年次の学びが非常に重要になります

基礎教育科目及び外国語科目について

★KSU基礎教育コア科目

区分	第1年次 授業科目(単位)	第2年次 授業科目(単位)	第3年次 授業科目(単位)	第4年次 授業科目(単位)
導入科目	基礎ゼミナール (アプライマリーセミナー) (2)			
	基礎ゼミナール (アプライマリーセミナー) (2)			
	導入ゼミナールⅠ (1)			
	導入ゼミナールⅡ (1)			
	情報処理解習Ⅰ (2)			
	情報処理解習Ⅱ (2)			
	★キャリア形成基礎Ⅰ (2)	★キャリア形成基礎Ⅱ (2)	★キャリア形成基礎Ⅲ (2)	★キャリア形成基礎Ⅳ (2)
	★キャリア形成基礎Ⅴ (2)	★キャリア形成基礎Ⅵ (2)	★キャリア形成基礎Ⅶ (2)	★キャリア形成基礎Ⅷ (2)
	★キャリア形成基礎Ⅸ (2)	★キャリア形成基礎Ⅹ (2)	★キャリア形成基礎Ⅺ (2)	★キャリア形成基礎Ⅻ (2)
	★キャリア形成基礎Ⅼ (2)	★キャリア形成基礎Ⅽ (2)	★キャリア形成基礎Ⅾ (2)	★キャリア形成基礎Ⅿ (2)
実践科目	★実践的教養Ⅰ (2)	★実践的教養Ⅱ (2)	★実践的教養Ⅲ (2)	★実践的教養Ⅳ (2)
	★実践的教養Ⅴ (2)	★実践的教養Ⅵ (2)	★実践的教養Ⅶ (2)	★実践的教養Ⅷ (2)
	★実践的教養Ⅸ (2)	★実践的教養Ⅹ (2)	★実践的教養Ⅺ (2)	★実践的教養Ⅻ (2)
	★実践的教養Ⅼ (2)	★実践的教養Ⅽ (2)	★実践的教養Ⅾ (2)	★実践的教養Ⅿ (2)
	★実践的教養ⅰ (2)	★実践的教養ⅱ (2)	★実践的教養ⅲ (2)	★実践的教養ⅴ (2)
	★実践的教養ⅵ (2)	★実践的教養ⅶ (2)	★実践的教養ⅷ (2)	★実践的教養ⅸ (2)
	★実践的教養ⅹ (2)	★実践的教養ⅺ (2)	★実践的教養ⅻ (2)	★実践的教養ⅼ (2)
	★実践的教養ⅽ (2)	★実践的教養ⅿ (2)	★実践的教養ⅿ (2)	★実践的教養ⅿ (2)
	★実践的教養ⅿ (2)	★実践的教養ⅿ (2)	★実践的教養ⅿ (2)	★実践的教養ⅿ (2)
	★実践的教養ⅿ (2)	★実践的教養ⅿ (2)	★実践的教養ⅿ (2)	★実践的教養ⅿ (2)
教養科目	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
	★日本の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)	★世界の歴史 (2)
外国語科目	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)
	★英語Ⅴ (1)	★英語Ⅵ (1)	★英語Ⅶ (1)	★英語Ⅷ (1)
	★英語Ⅸ (1)	★英語Ⅹ (1)	★英語Ⅺ (1)	★英語Ⅻ (1)
	★英語Ⅼ (1)	★英語Ⅽ (1)	★英語Ⅾ (1)	★英語Ⅿ (1)
	★英語ⅰ (1)	★英語ⅱ (1)	★英語ⅲ (1)	★英語ⅴ (1)
	★英語ⅵ (1)	★英語ⅶ (1)	★英語ⅷ (1)	★英語ⅸ (1)
	★英語ⅹ (1)	★英語ⅺ (1)	★英語ⅻ (1)	★英語ⅼ (1)
	★英語ⅽ (1)	★英語ⅿ (1)	★英語ⅿ (1)	★英語ⅿ (1)
	★英語ⅿ (1)	★英語ⅿ (1)	★英語ⅿ (1)	★英語ⅿ (1)
	★英語ⅿ (1)	★英語ⅿ (1)	★英語ⅿ (1)	★英語ⅿ (1)

基礎教育科目
実践科目 4単位以上
教養科目 4単位以上
 全体（上述を含む）で14単位以上

★コア科目
 履修を推奨する科目です。
 コア科目を中心に履修しましょう

外国語科目
 10単位（英語8単位以上）

英語科目
 プレACEMENTテスト結果をもとに、
 自分の能力に応じたクラスに編成されます。
 英語科目2科目が事前に登録されています。

資格の単位認定について

学生便覧P.96～97、P.104～105参照

学生便覧P.104、105に該当する資格を取得した場合に、卒業に必要な単位として認定される制度があります。

※履修規程第33条を確認！

- ①入学前に、取得している資格。
- ②大学在学中に、取得した資格。

例)

- 日商簿記 2 級・・・2 単位
 - ビジネス能力検定グローバル試験 1 級・・・4 単位
 - TOEIC560点以上・・・4 単位
 - 中国語検定試験 2 級・・・2 単位
- 資格関連科目として認定
- 外国語科目として認定

【申請時期】

6月中旬と12月初旬の年2回、申請をする時期があります。
詳細はK'sLife等で通知します。

社会調査士について

社会調査士とは・・・

インタビュー調査やアンケート調査の方法を学び、統計や世論調査の結果を批判的に検討するなど、社会調査の現場で必要な能力をもった「社会調査の専門家」のことで、商学部で開講されている以下の科目の単位を修得することで、資格を取得することが出来ます（詳しくは、次年度のガイダンス等で説明があります）。

- マーケティングリサーチ論（2年後期）
- マーケティングリサーチ演習（2年後期）
- データ分析の基礎（2年前期）
- データ分析（3年前期）
- データ分析の応用（3年前期）
- 九州とマーケティング（3年通年）

情報収集力・分析力・行動力が身につきます！

授業時間割について

3種類あります。

① 専門科目

② 「基礎教育・教職・留学生の日本事情科目」
(KSU基盤教育)

③ 「外国語科目・留学生の日本語科目」
(KSU基盤教育)

②及び③は、全学共通で開講されます。

※基礎教育・外国語科目時間割に記載されている科目は、基本的にどの学部・学科であっても履修できます。(英語はクラス分けされています)

授業時間割について

・ 教室の見方について

N 1 0 1 1号館 1階 N側 1 0 1 教室
2 E 3 0 1 2号館 3階 E側 3 0 1 教室
0 A 2 1号館 6階 0 A 2 教室
1 6 2 1 1 6号館 2階 2 1 教室
3 4 0 6 3号館 4階 4 0 6 教室

授業時間割を変更する場合

- ①授業が追加される
 - ②受講者数などの理由により、教室を変更する
 - ③担当者が変更するなど
- ※K'sLifeで通知を行います。

履修単位上限数について (CAP)

単位修得に必要な学修時間の確保するため、1年間に履修登録できる単位数の上限が定められています。

商学部経営・流通学科

1年次	4	4	単位	(年間)
2年次	4	4	単位	(年間)
3年次	4	4	単位	(年間)
4年次	4	4	単位	(年間)

※上級生とルールが変わっているので、注意！！

1年次の単位修得について（重要事項）

- ① 1年次に**40単位以上**修得すること！
 - ・ 1年次に20単位以上修得しないと、2年次以降の授業科目を履修できない。
 - ・ 1年次に20単位以上修得しないと、2年次からのコースに所属できない。
- ② 2年次以降のコース所属については、以下の**3コースの中から選択**すること！
 - ・ **マーケティングコース**
流通やマーケティングを体系的に学修し、九州のビジネス現場で幅広く活用できる知識と技能を身につける。
 - ・ **国際ビジネスコース**
異質性や多様性に対する受容力を高め、国際ビジネス分野をリードする人材を育成する。
 - ・ **社会情報コース**
次代が求める、社会情報分野の専門知識と技能を身につける。
- ③ 1年次から4年次まで**全員ゼミナール**に所属！
- ④ 単位の修得数が低い学生は、**三者面談（学生・保護者・教職員）**を受けなければならない。（昨年度は、前期14単位以下）
- ⑤ **2年次にインターンシップ**に行くためには、1年次後期のインターンシップ入門の単位を必ず修得しなければならない。
- ⑥ 全員が**資格取得**のための科目を4単位以上修得しなければならない。
例）マーケティング実践演習B（販売士2級）：2年次以降配当
- ⑦ 全員が**実践（プロジェクト）型の科目**を12単位以上修得しなければならない。
例）九州とマーケティング：3年次以降配当

英語のクラスについて

英語クラスは能力別クラスとなっており、先日受験した英語プレイスメントテストのスコアによりクラス分けされています。

「Reading & Writing I・II」と「Listening & Speaking I・II」の4科目は、4/7（火）までに仮登録されます。

→英語クラス分け結果については、4月7日(火)に大学のポータルサイトK's Lifeを確認すること。

実用国語、数理的教養の履修について

国語プレイスメントテスト結果をもとに、国語科目を予め登録している場合があります。

以下の科目が既に履修登録されている場合、必ず履修し、単位修得できるよう頑張ってください。

「実用国語Ⅰ（文章力）」、「実用国語Ⅱ（国語力）」、「実践キャリア学修B」

数学プレイスメントテスト結果をもとに、基礎教育センターから「数理的教養Ⅰ」の履修を促す場合があります。その際は「数理的教養Ⅰ」を履修するようにしてください。

受講者数の上限数について

受講者数の上限が設定されています。

履修の画面に

- : 残数が30%以上
- △ : 残数が30%未満
- × : 残数が0%

履修については、早めに登録すること。
教室の規模に応じて、履修登録を制限しているため、教室の座席数を超えて、履修登録することができない設定となっている。



ということは、早めに履修登録しないと、履修できなくなる可能性がある・・・。

令和2年度新規科目について

「実践力育成演習B」（担当者：鶴田先生、松岡先生、村上先生）

「AIを使いこなす人」を育てるため、
全学共通基礎科目として、AIに関する授業を開講します。
AIの魅力と必要性を体感する授業です。
※同一授業科目名称で内容の異なる科目があるので注意すること。

「総合講座D」担当者：今村先生

「先を読む力」「論理的思考力」「コミュニケーション力」の向上を
図るため、囲碁に関する授業を開講します。
囲碁のルールを解説し、実際に対局を行います。



ホークス・スタッフが講師！
プロ野球ビジネスが学べる！
タカガールデー観戦も！

金曜2限
「実践キャリア演習A」
学部・学科横断型

九産大だけの特別講座

履修制限科目について

履修が制限されている科目があります。

初回授業に出席して受講許可が得られる科目

- ・ 実践力育成演習A
- ・ スポーツ科学演習
- ・ 課題解決演習A・B

必ず1回目の授業から出席しましょう！！

授業時間割のつくりかた

11:00～履修説明会
4/7～4/9履修登録期間
※自分で登録すること。

※時間割に、自分が履修する科目をマークしよう！！

①クラス分け表をみて、自分のクラスを確認する。

(基礎ゼミナールの担当教員のクラス番号)

②火1・水1・金1は、英語科目を履修するため、空けておくこと。

③その他の全員履修科目は、教務課で事前登録をしている。履修説明会（本日）の際に自分で確認すること。

④実践キャリア学修Bが登録されている学生は、履修すること。

⑤基礎教育科目を選択し、マークする。

実践科目・教養科目を中心にマークする。

⑥初修外国語（中国語や韓国語など）をマークする。（状況に応じて）

※履修登録単位数の上限である44単位履修すること。

WEB履修登録説明会

※WEB履修説明会において、履修登録の仕方をお教えします。

履修登録は、4/7（火）に一斉スタート！！それまでに授業科目を選定しておくこと。

WEB履修登録説明会

時 間：4月3日（金）11:00～12:00

場 所：中央会館4階パソコン教室1・2・3

（教室は学籍番号で分かれていますので、どの教室か確認してください。）

※履修ガイド・授業時間割表を必ず持参すること！

前学期履修登録期間・・・4月7日（火）～4月9日（木）

前学期履修登録**変更**期間・・・4月27日（月）～4月30日（木）

後学期履修登録**変更**期間・・・9月8日（火）～9月18日（金）



「履修登録」や「履修変更」などはK'sLife
で登録を行った**翌日以降**に出力し、内容に
間違いがないか必ず確認してください。

履修したら

①教科書の購入

- 履修ガイド・教科書購入一覧を参考に自分が履修した科目の教科書を確認する。
- 教科書購入申込書（OCR）を使って購入する。
- 教科書販売：4月7日（火）～ 場所：中央会館2F販売所

②授業に出席する（半期14回）

- 時間割を見て、教室を確認して、教室に入ってください。
- 教室の変更等は、K'sLifeを使って確認できます。
- 出席登録のためには学生証が必要です。

③休講・補講について

- **休講**：授業担当者がやむ負えない理由で授業が行われない場合があります。
- **補講**：休講した授業を補うために行う講義。

**休講・補講の情報はK'sLifeで通知します。
毎日、確認してください。**

試験について

前学期定期試験 R2/7/25 (土) ~7/31 (金)

後学期定期試験 R3/1/8 (金) ~1/18 (月)

以下に該当すると試験が受けられません！！

- ・履修登録をしていない。 ・授業の出席回数が2分の1に満たない。
- ・修学費を納めていない。 ・学生証を所持していない。 ・試験に20分以上遅刻した。

定期試験時間割表は試験開始 2 週間前に**教務部HP**に掲載します。

(紙での配布はありません)

必ず確認を行い、受験忘れなどしないように注意して下さい

追試験

- ・病気その他**やむを得ない事由**で定期試験を受験できなかった学生に対して行う試験。
- ・追試験を申し出ることのできる要件は学生便覧で確認すること。
- ・定期試験最終日の翌日までに、所定の書類を教務課に届けること。

教職資格等について

教職・学芸員・社会教育主事・司書等 資格取得が可能

教職課程…………… 1年次後学期から履修開始。
1年次生を対象に7月頃教職ガイダンスを実施します。

司書・学芸員・社会教育主事・・・ 1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス（司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事）
該当学生には、K'sLifeにてお知らせしますので、
必要な手続きを行って下さい。

奨学金関連のお知らせ

「日本学生支援機構」

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象!!

日程	開始時間	対象学部	場所
4月2日(木)	15:00	商学部（経営管理）	1号館4階 S404番教室
	15:30	商学部（流通マーケティング）	
4月3日(金)	9:30	経済学部	1号館2階 S201番教室
	10:00	人間科学部（臨床心理・子ども教育）	
	10:30	地域共創学部（観光）	
	11:00	人間科学部（スポーツ健康科）・建築都市工学部（建築）	1号館1階 S101番教室
	14:00	地域共創学部（地域づくり）	
	14:30	建築都市工学部（都市デザイン工）	
	15:00	国際文化学部	
4月6日(月)	9:00	理工学部（情報科）	1号館2階 S201番教室
	9:30	理工学部（機械工）	
	10:00	理工学部（電気工）	
	10:30	芸術学部（生活環境デザイン）、生命科学部	
	11:00	芸術学部（芸術表現・ソーシャルデザイン）・建築都市工学部（住居・インテリア）	
	11:30	芸術学部（ビジュアルデザイン・写真映像）	

※なお、同様に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸付を希望している方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階の厚生課にお尋ねください。

4月22日（水）

授業開始

※履修登録変更期間は、**4月30日(木)**まで
ですが、授業によっては出席を取り、授業
の内容も進んでいきます。

受講希望の授業には必ず出席しましょう！

KSU基盤教育

KSU基盤教育とは、
社会のどこでも活躍できる(通用する)
『**基礎力**』を培うプログラムです。

九州産業大学に入学した学生



全員

2年間

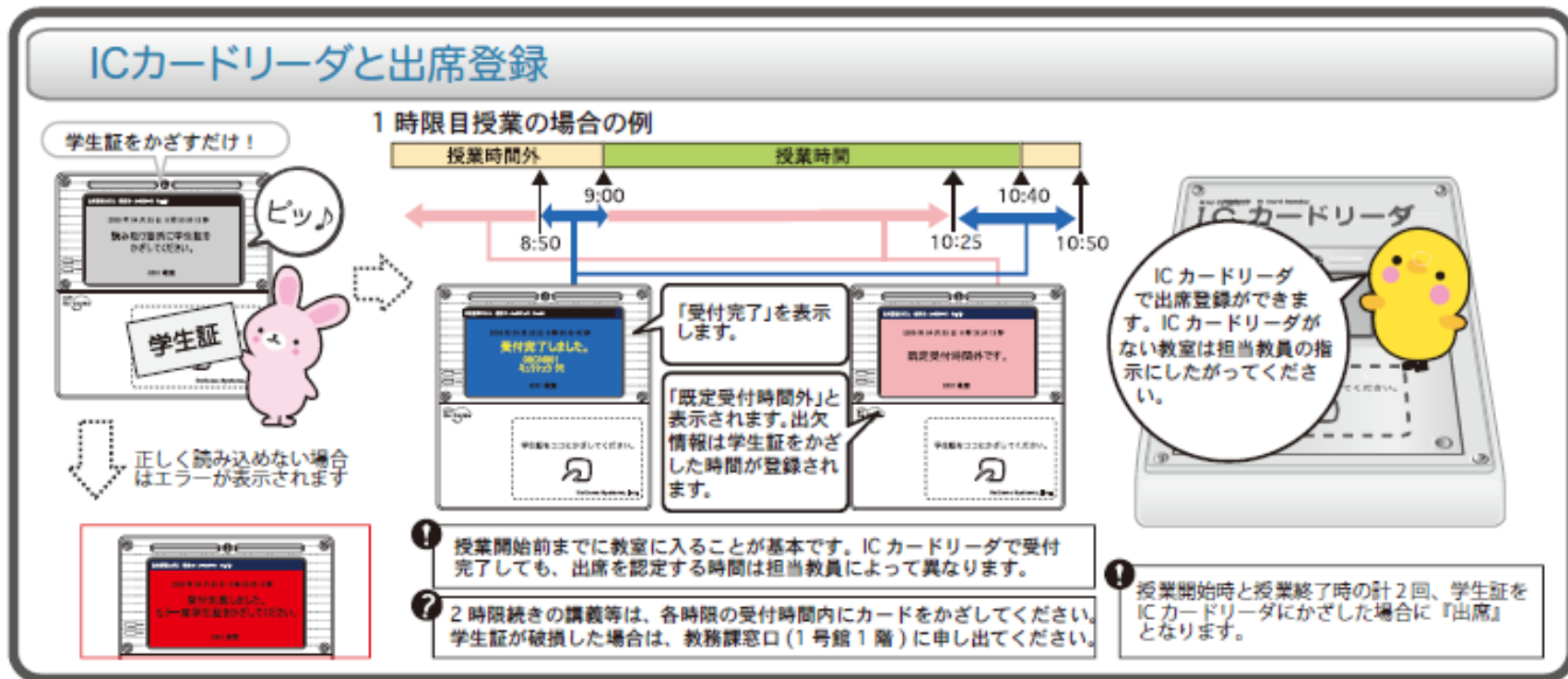
全学共
通

K S U 基盤教育

イメージ図



授業の出席について



- ・入室時間：授業開始10分前～授業開始まで（10分間）
- ・退出時間：授業終了15分前～授業終了後10分後まで（25分間）
※授業開始から15分後までは「遅刻」となります。

※ICカードのかざし忘れには注意すること。

※かざす時間帯に注意すること。

教務部HPについて

教務部ホームページ

教務部ホームページをオープンしました。

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

トップページ

- ・ **教務課からのお知らせ**

教務関係のお知らせを掲載します。

- ・ **よくある質問**

問い合わせが多い内容を掲載します。

- ・ **ピックアップ**

旬な情報を掲載しています。

- ・ **スケジュール**

学生便覧の内容を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- ・ **教室検索**

- ・ **利用の手引き**

- ・ **学籍関係**

etc.....

学部のページ

- ・ **履修・授業・卒業に関すること**

履修規程の要点を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- ・ **時間割**

授業の時間割を掲載しています。
試験前は試験時間割を掲載します。

- ・ **学部からのお知らせ**

教務関係のお知らせを掲載します。

- ・ **よくある質問**

問い合わせが多い内容（学部）を掲載します。

- ・ **ピックアップ**

旬な情報を掲載しています。

etc.....

<http://www.eas.kyusan-u.ac.jp/>



チャレンジマンズについて

チャレンジマンズとは

- ・100分授業の導入に応じて、
夏季や春季の休業期間の延長
→**長期休業期間中の学外での活動を推奨**
(例：海外研修・留学、ボランティア等の
社会貢献活動、インターンシップ参加など)

出席について

出席について

本学学生のデータ分析の結果、
授業全体の出席率が**80%以下**（欠席3回以上）
になると、単位修得率が大きく下がることが分
かっています。

→急な病気等で休まないといけないこともある
ので、普段から授業にはきちんと出席すること。

三者面談について

三者面談

- ① 学期途中（①4月末、②6月末）で出席率が低い学生については、保護者の方へ**注意文書**を送付します。
- ② 連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付します。
- ③ 学期末に出席率、GPA、修得単位数が低い学生については、**三者面談**を行います。
- ④ 改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒（訓告、退学処分）**を行うことがあります。



対象にならないように、授業には**必ず**出席しましょう！
※途中で諦める科目が発生した場合は、全体の出席率が下がるので、履修はよく考えて行うこと。

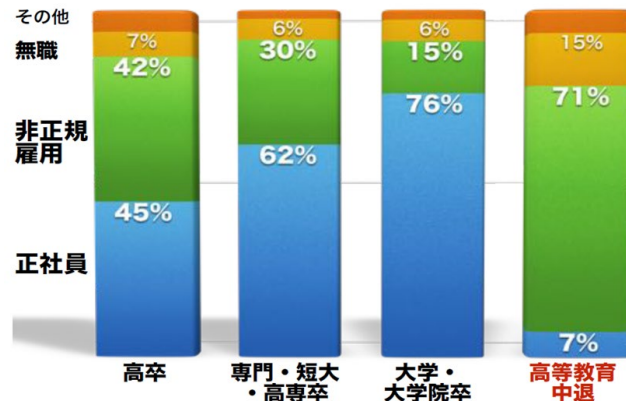
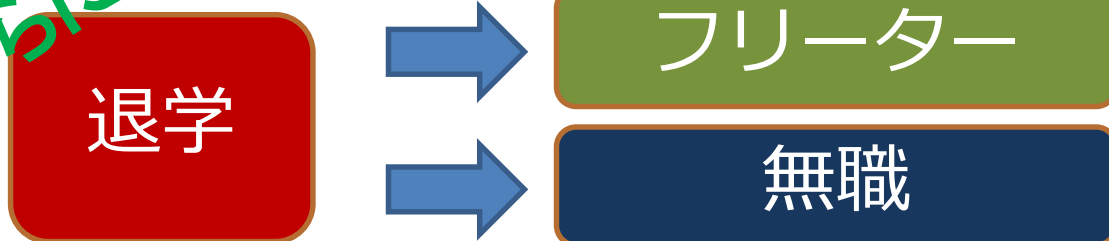
除籍退学について

本学の調査では・・・ 出席状況が悪いと退学につながる傾向があります。



1年次終了時10単位以下 → 4年次終了までにほとんど(90%以上)が退学に至る。
※単位修得数が少ないと、2年次以降希望のゼミ・コースに入りにくくなるし、就職活動にも悪影響となり、学生生活における制約条件が多くなることは言うまでもない・・・。

さらに!!



独立行政法人 労働政策研究・研修機構「第3回若者のワークスタイル調査」(2012年)より

大学・専門学校中退後、男性の54.1%、女性の63.4%がずっとフリーターか無職である。

出典：労働政策研究所・研修機構「大都市の若者の就業行動と移行課程」

1年次の単位修得について（重要事項）

1年次20単位未満になった場合の負の連鎖



さらに…
2年次終了時36単位未満の場合は、
3年次に進級できない。

各種掲示板・連絡通知について

※時間割の変更、休講・補講、教室変更、科目担当者からの連絡などは・・・

- ① K's Lifeで通知される
- ② 教務部HPに掲載される



毎日確認すること!!

本日以降の予定について

4/6（月）

11:00～12:00：WEB履修説明会

パソコン教室 1：20CB251～350

パソコン教室 2：20CB351～4500

パソコン教室 3：20CB450～

13:00～15:00：第1回基礎ゼミナール〈N101〉 ← **中止**

4/22（水）授業開始

※詳細は、**新入生オリエンテーション等日程表を確認すること**

コロナウイルス感染症拡大に伴う 本学の対応について

K' s Life、HPで随時情報を更新していますので、必ず確認するようにしてください。
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、各自、自己防衛に努めてください。

最後に

時間割、履修、授業など分からないことがあったら、
すぐ教務課へ!!

092-673-5597 ←登録してね ^^

基礎ゼミナールに先輩学生のL A（ラーニング・アシスタント）を配置している。
積極的にL Aを活用すること!!

分からないことを分からないままにしないこと。
必ず聞くこと。

KSU 基盤教育とは

社会で活躍できる「基礎力」を培う教育プログラムです

KSU 基盤教育で学ぶこと

教養科目（基礎教育科目）

国語、数学、歴史、憲法、政治、スポーツ科学など、広くさまざまな学問を学ぶことにより、社会で生きていくうえで必要な教養を身につけることができます。

外国語科目

グローバル社会で活躍するために、英語・英会話を中心に学ぶことにより、英語での日常会話力を身につけることができます。

専門基礎科目

1年次及び2年次の入門的・基礎的科目を体系的に学修することにより、専門課程へスムーズに移行することができます。

👉 ココがポイント！

従来の学部や学科ごとに授業科目を開講する教育プログラムとは違い、全員・2年間・全学共通で授業科目を受講することによって、しっかりとした大学生活の基盤（土台）を培うことができます。

これにより、高校から大学へのスムーズな移行ができ、入門→基礎→応用・展開というように、体系的に学修できるようになります。

